



(1) 入学前予約型給費奨学金 「おゝ明治奨学金」

一般選抜出願前（12月下旬予定）に採用が決定する給付型奨学金。2023年度入試から家計基準を、2024年度入試から成績基準を緩和し、対象者を拡大。

※詳細は募集要項（ホームページに掲載）でご確認ください。

【申請期間】2025年度入学者については、2024年10月11日（金）～11月8日（金） ※申請期間最終日の消印有効

【給付額】授業料年額1/2相当額

【給付期間】4年間 ※資格継続基準を満たした場合

(2) バイオリソース研究 国際インスティテュート (MUIBR)

アニマル・バイオテクノロジーを基盤とした研究を推進。ブタを用いた研究から、ヒトの病気の仕組みや治療法を探っており、それらの研究を土台に、生理学的な特徴がヒトと非常に近いといわれるブタの臓器や組織を、臓器移植医療に利用する研究を行っている。糖尿病と腎不全の治療が主要な研究テーマ。

(3) Meiji Global Village

国際化推進事業の一環として、和泉キャンパスに全216室の国際混住寮「明治大学グローバル・ヴィレッジ (MGV)」が2019年春オープン。寮内にはユニットタイプの居室に加え、リビングやプレイルームなど、さまざまな共用スペースが配置されており、留学生と日本人学生が日常的な交流の中で、共に学び合える設計となっている。



(4) 「就職に力を入れている大学」 14年連続 1位

高校の進路指導教諭が選ぶ「就職に力を入れている大学」ランキング（大学通信調べ）で、14年連続1位に選出。年間1,000社以上の企業が協力する学内イベントの実施や、就活のノウハウを詰め込んだ「就職活動手帳」の配付、さらには面接練習やエントリーシート添削といった各種選考対策など、手厚いサポートが高く評価されている。コロナ禍においても、他大学に先駆けたオンライン対応を実現した。



創立者の理念や創立時の歴史背景が、その大学の背骨を形成することは間違いありません。来るべき150周年に向けて、明治大学はこれらも果敢に「前へ」と進みます。



2022年4月に誕生した「和泉ラーニングスクエア」



2025年4月開館予定の生田「センターフォレスト」

「『個』を磨き、ともに持続可能な社会を創る」。これは、本学の建学の精神である「権利自由、独立自治」の現代的表現に他なりません。研究では、受入研究費を2030年までに50億円に、論文の国際共著率を30%にまで引き上げることを目標としています。研究活動の活性化とその質の保証は、大学改革の最重要課題の一つです。

男女問わず学べる「明治大学プラットフォームプログラム」をオンラインで開講しています。2022年4月に誕生した新教育棟「和泉ラーニングスクエア」には、アクティブラーニングの推進を目的として、グループボックスや、学生同士が自発的に集まり出会うことでイノベーションを起こす「プレゼンテーションラウンジ」等、さまざまな新しい仕掛けや工夫を数多く盛り込みました。利用開始から2年以上が経ちましたが、利用者である学生・教員からは高い評価を頂いています。また2025年4月には、生田キャンパスにも新教育棟「センターフォレスト」が開館する予定です。これら次世代の新しい校舎で学友と交流し大きく成長を遂げた明大生が、全世界で活躍し新しい時代を切り開いていくことを、大いに期待しています。



うえの まさお
上野正雄学長
1980年明治大学法学部卒業。2003年裁判官から明治大学に転職し、助教授、教授を経て2024年より現職。専門は刑事法（犯罪学、少年法、犯罪者処遇法）。

明治大学は1881年、岸本辰雄、宮城浩蔵、矢代操によって「明治法律学校」として創立されました。3人は鳥取、山形、福井から藩の貢進（選抜）生として、明法寮（のちの司法省法学校）に学び、その後、岸本と宮城はフランス留学で当時のフランス自由主義に大きな影響を受けました。

建学の精神は「権利自由、独立自治」。初代校長の岸本は、1903年に明治大学へ改称した際の演説「明治大学の主義」の中で、「官僚が国を動かすために法律の知識を持つのは当然。しかし、それに流されない独立した個人を作る…」ことの重要性を強調しました。「『個』の確立を通じて、社会を支える一人ひとりの市民を育てるという精神です。つまり、エリート養成ではなく、時代に流されず、為政者に左右されない個人を作りたいというのが、明治大学の理念なのです。これは現在の教育理念「『個』を強くする大学」に継承されています。

明治大学

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 入試広報事務局 TEL 03-3296-4139 <https://www.meiji.ac.jp/exam/>

『個』を磨き、 ともに持続可能な社会を創る

明治法律学校が「権利自由、独立自治」の旗をかざして創立されて、ほぼ1世紀半が経過した今、改めて明治大学にとっての権利自由、独立自治の意味を考えました。我々人類はより良い明日を願って数10万年の歴史を紡いできました。その願いは多くの場面で一定程度叶えられてきたと言えましょう。我々ホモ・サピエンスはラテン語で「賢い人」「知恵のある人」の意ですが、その面目躍如と言って良いでしょうか。しかし、願いが全て叶ったわけではありません。今なお、環境破壊や資源の枯渇、戦争、弾圧、差別、貧困など我々全体の存続さえ脅かしかねない問題が地球上には山積しています。むしろ、人類が抱える現在の問題は、質、量ともに昔よりも深刻化していると言えるかも知れません。これらの問題に共通する原因は何でしょうか。私は、簡単なことだと思えます。1,000,000人の人間が、1,000,000人の人間の尊厳を尊重しないことなのではないでしょうか。自分

明治大学の権利自由、独立自治

明治法律学校が「権利自由、独立自治」の旗をかざして創立されて、ほぼ1世紀半が経過した今、改めて明治大学にとっての権利自由、独立自治の意味を考えました。我々人類はより良い明日を願って数10万年の歴史を紡いできました。その願いは多くの場面で一定程度叶えられてきたと言えましょう。我々ホモ・サピエンスはラテン語で「賢い人」「知恵のある人」の意ですが、その面目躍如と言って良いでしょうか。しかし、願いが全て叶ったわけではありません。今なお、環境破壊や資源の枯渇、戦争、弾圧、差別、貧困など我々全体の存続さえ脅かしかねない問題が地球上には山積しています。むしろ、人類が抱える現在の問題は、質、量ともに昔よりも深刻化していると言えるかも知れません。これらの問題に共通する原因は何でしょうか。私は、簡単なことだと思えます。1,000,000人の人間が、1,000,000人の人間の尊厳を尊重しないことなのではないでしょうか。自分

を大切にすることも必要、それと同じように他人を尊重することも必要。つまり、世界規模での自他の自由の尊重を実現すること、換言すれば「権利自由、独立自治」を実現することこそが問題解決の途となると考えています。

明治大学の若き創立者達は1世紀半前にこれを旗印にしました。明治大学の歴史は「権利自由、独立自治」の実現を目指す歴史だったので。そして、それが未だ達成されていないことは上に述べたとおりです。それゆえ、当然のこととして、明治大学は、これからもその達成を使命として前へ進んでいかなければなりません。



駿河台キャンパス・リパティタワー